

たんばりんぐ

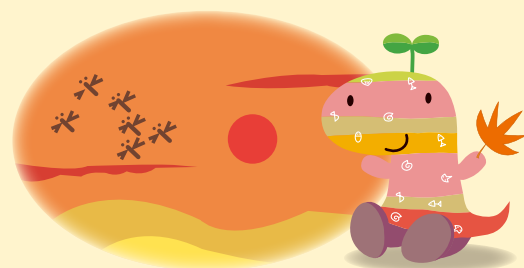
TAMBARING



すべての小・中学校の耐震工事が完了しました。

contents

9月定例会	2
代表質問・一般質問19人が市政をたず	4
市行政に対する要望・提言の回答を得ました	11
議会の動き(4年間を振り返って)	12
23年度政務調査費の公表	14
常任委員会活動レポート	15
市民の投稿	16



議案・補正予算などを審議

9月補正予算のおもな内容

丹波竜活用事業自動車購入費	510万円
地域振興基金積立金	3億円
戸籍住民基本台帳事業システム(開発・変更)委託料	508万円
障害者福祉サービス等給付事業療養介護医療費	1,116万円
アフタースクール事業運営委託料	551万円
設備投資支援事業補助金	2,000万円
企業誘致促進補助金	3,380万円
長期債繰上償還金(元金)	5億2,994万円

第61回定例会を9月3日から10月10日まで38日間の会期で開催しました。

その中で、平成24年度一般会計・特別会計の補正予算の審議、条例の制定などを慎重に審議し、それぞれ可決しました。

23年度決算については決算特別委員会を設置し、審査しました。

なお、決算の審議・認定などは次号の議会だよりでお知らせします。

本会議・委員会での 主な質疑



休日応急診療所設置条例 一部改正

問 休日応急診療所運営委員会が一度も開催されていないが、どうか。

答 ▼これまで諮問することがありませんでしたので、開催していませんでした。今後は年1回は開催したいと考えます。

一般会計補正予算

問 本人通知制度の確認項目とは何か。

答 ▼現戸籍、改製原戸籍、除籍など本人の氏名が記載されている分をすべて確認する必要がある、人によつてはたくさん項目があります。現在手作業で行なっていますが、事務が煩雑になっていますのでシステム改修を行ないます。

産業建設常任委員会

問 市島簡易水道再編推進事業実施設計業務について、受託業者が破産し、水道部の不正事務処理が明らかになったが、その業務の未執行の発注を行う予算計上はいつ行なうのか。

答 ▼先日、未執行分の事業費が確定しました。至急、業務発注の設計積算を行ない、予定額が確定次第、産業建設常任委員会に報告いたします。

総務常任委員会

総務常任委員会では、付託されていた議案を全て賛成全員で可決しましたが、議案第101号新井小学校北校舎改築工事請負契約の締結については、以下の付帯意見が付され、委員長報告がなされました。

「議案第101号に関して、水道部職員による虚偽検査調査作成事件の再発防止策が求められる中で、本工事においても、設計業務を請け負った業者が、随意契約によつて再び施

工監理業務委託契約を締結しようとしていることが、審査の過程で明らかになった。

これらの契約行為は、従前から他の業務委託契約にも見られ、ある種、慣例化したものであると認めざるを得ない。

本来、入札制度は透明性、公正性が確保されたものでなければならず、適正な予算執行が求められる行政運営上からも、市民が不信感を招くことのないよう、早急に改善策を講じるべきである。」



一般会計補正予算 反対討論

西本嘉宏

地方交付税の増額と繰越金の大部分が繰上償還や積立金である。その部でも市民負担の軽減や市政の課題解決のため事業実施をすべきだ。

8月臨時会・9月定例会議案の審議結果

■全員賛成で可決した議案

- 議案第84号 消防ポンプ自動車購入契約の締結(8月臨時会)
- 議案第85号 市道特15号線(佐野橋)橋梁架替工事(その5)の請負契約の締結(8月臨時会)
- 議案第86号 水槽付消防ポンプ自動車購入契約の締結(8月臨時会)
- 議案第87号 総合計画審議会条例の一部改正
- 議案第88号 自治基本条例審議会条例の一部改正
- 議案第89号 税条例の一部改正
- 議案第90号 災害対策本部条例の一部改正
- 議案第91号 防災会議条例の一部改正
- 議案第92号 休日応急診療所設置条例の一部改正
- 議案第93号 市島有機センター条例の一部改正
- 議案第94号から議案第97号
農作物共済(水稻)(麦)・ 畑作物共済(大豆)・ 園芸施設共済無事戻金の交付
- 議案第98号 農作物共済特別積立金の取崩し
- 議案第99号 休養施設やすら樹に係る指定管理者の指定
- 議案第100号 都市計画審議会条例の一部改正
- 議案第101号 新井小学校北校舎改築工事の請負契約の締結
- 議案第102号 消防審議会設置条例の一部改正
- 議案第103号 水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- 議案第105号から議案第115号
平成24年度国民健康保険特別会計事業勘定(第1号)・国民健康保険特別会計直診勘定(第1号)・介護保険特別会計保険事業勘定(第2号)・介護保険特別会計サービス事業勘定(第2号)・後期高齢者医療特別会計(第1号)・訪問看護ステーション特別会計(第2号)・下水道特別会計(第1号)・地方卸売市場特別会計(第1号)・駐車場特別会計(第1号)・農業共済特別会計(第1号)・水道事業会計(第1号)の各会計補正予算
- 意見書第2号 原子力発電からの脱却と自然エネルギーへの転換を求める意見書(内容を下記に記載)

■賛否の分かれた議案

○…賛成 ×…反対

議 案	足立 一光	林 時彦	田坂 幸恵	藤原 悟	奥村 正行	田口 勝彦	坂谷 高義	太田 喜一郎	岸田 昇	西本 嘉宏	広瀬 憲一	垣内 廣明	荻野 拓司	山下 栄治	前川 豊市	瀬川 至	足立 修	大木 滝夫	木戸 せつみ	小寺 昌樹	山本 忠利	高橋 信二	堀 幸一	足立 正典	議決結果
発議第1号 市発注の業務委託契約に係る調査特別委員会の設置について	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	否決 (賛11、反12)
議案第104号 平成24年度一般会計(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	原案可決 (賛21、反2)
請願第1号 関西電力大飯原子力発電所3・4号機の再稼働に反対する請願	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	不採択 (賛3、反20)

●意見書を関係機関に提出しました。

原子力発電からの脱却と自然エネルギーへの転換を求める意見書

昨年の3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震とこれに伴う大津波は、東北地方を中心に数多くの尊い人命を奪い、未曾有の大災害をもたらした。加えて、東京電力福島第一原子力発電所は、1号機から3号機までが炉心溶融《メルトダウン》という最悪の事態となり、周辺の海や大気、土壌は高濃度の放射性物質により汚染されるという前代未聞の重大事故となった。

この原発周辺の住民は、避難を余儀なくされ、今もまだ不自由な避難生活を強いられ、いつ故郷へ帰れるのかまったく見通しすら立たない状態である。さらに、避難地域以外の住民も通常より高い放射線量のなかで生活を余儀なくされ、特に子どもたちへの影響が大変心配されているところであり、今回の震災による原発事故で、「安全神話」が完全に崩壊した。

また、丹波市は、関西電力高浜原子力発電所から一部が50km圏内に位置することから、ひとたび事故が起こると、市内に放射性物質が拡散する危険があり、7万市民の命と暮らしが脅かされることとなる。

よって、国は、今回の事故を教訓として国民の生命と暮らしを守るために、事故の一刻も早い収束と、原子力に依存しない自然エネルギー政策へ転換することを強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年9月20日

衆議院議長 横 路 孝 弘 殿
参議院議長 平 田 健 二 殿
内閣総理大臣 野 田 佳 彦 殿
経済産業大臣 枝 野 幸 男 殿
環境大臣 細 野 豪 志 殿

兵庫県丹波市議会
議長 足 立 正 典

一般質問とは、市政全般にわたり、市長その他の執行機関に対し、事務執行の状況や将来への方針などについて所信をただしたり、報告や説明を求め、疑問をただすことをいいます。

9月定例会の内容をみなさんにお伝えします。



市政をただす

代表質問 一般質問

代表質問

代表質問



政友会
足立 修議員

公的2病院の統合で 市域医療の安定を

問 市が市域の医療検討会

議で求める地域医療のレベルをどう考えるか。現状では、3次高度医療の実現は難しいのではないかと。

答 ▼基本的には機能集約により、専門性の高い医療の提供も可能な病院をめざします。

問 公的2病院の統合は、人口減少、施設老朽、累積赤字などから、やむを得ないと思われる。

しかし、組織、医師、働く人、市民の合意がなければ不可能である。統合は、市域の医療体制の安定のためには必要であると考えますが、その戦略はあるのか。また、建設場所は市の中心部が市民の希望であるかどうか。

答 ▼両病院の抱える課題を考えると、一つの病院として充実させることが望ましいと考えます。検討会へ両病院



△公的2病院の統合は可能か

の統合の協議を提案します。また、場所については次の段階の医療提供体制の具体化の中で検討します。

問 看護専門学校が市立

化は長期的な視点、安定経営が要る。大学化、少子化に対応可能か。

答 ▼若者の定着、病院経営の安定などをめざします。地元優先入学、近隣地域連携など対策を考えます。

代表質問



日本共産党議員団
西本嘉宏議員

デマンドタクシーの 見直しを

問 デマンド(予約)型乗合

タクシーの導入から1年半、依然として、旧町域を越え病院に行きたいという声は多いが、本格的な改善に取り組めないのか。

答 ▼旧町域を越え通院したいという声もあり、今後「公共交通活性化協議会」で改めて協議します。

問 介護保険・訪問介護(生活援助)の基準時間が、4月から60分が45分に短縮された。利用者のサービス時間が削られ、同時に報酬も減ることに

なった。実態の把握を行ない、時間の短縮をしないよう事業者へ指導と市独自の援助をすべきだ。

答 ▼改正で生活援助の時間が短縮されましたが、国は、「利用者の状況に応じて必要なサービスができるように配慮する」とし、60分の



△見直しが迫られるデマンド(予約型)乗合タクシー

代表質問



公明党
藤原 悟 議員

防災・減災対策に 重点的な取り組みを

問 道路や橋などの社会資本の総点検を実施し、予防的な改修・増改築を計画的に行なう「災害から命を守る」公共投資を。

答 ▼市の橋梁については、点検結果に基づき「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、平成25年度から順次、計画的に補修工事を進めていきます。



△耐震補強改修工事中の県道「山崎橋」

問 小・中学校での防災教育の取り組み状況は。

答 ▼安全マップの活用や、計画に基づいた防災訓練を毎年実施しています。

問 「家族防災会議の日」の制定など、家族・地域での防災意識を高める継続的な啓発・取り組みを。

答 ▼手作りハザードマップの作成・活用や訓練などを通じて防災意識の向上を図ります。

問 いじめ、自殺などが社会問題となっている。「命の大切さ」や「他の人々を思いやる心」を育む「いのちの教育」の充実を。

答 ▼「いのちの教育」について、系統的、計画的に実施しています。「命の大切さ」を教育の基盤に据え、さらに積極的に取り組みます。

問 熱中症対策として、小・中学校に「ミストシャワー」の設置を。

答 ▼青垣中学校に設置しており、効果の検証を踏まえ、検討します。

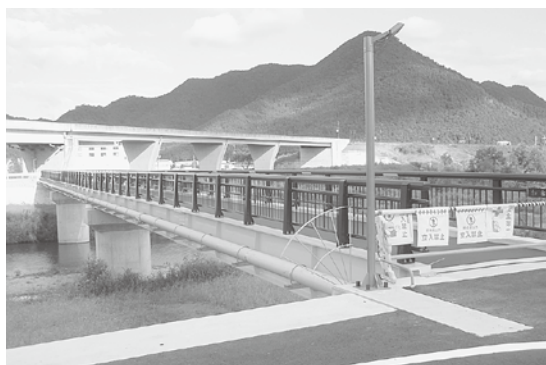
代表質問



改革クラブ
田口勝彦 議員

水道部の不祥事や 無駄な投資の責任は

問 市の重要課題及び大型事業では、無駄な投資や先送りがある。庁舎建設では、検討委員会や職員の労力、賃金が無駄だ。ごみ処理施設建設ではできなかった炭化方式での処理施設を推進するための委託料1,998万円が無駄だ。また山南地域のゴミ処理問題での篠山市との交渉は先送りになっているのではないかと。



△水管橋から設計変更された水道橋

答 ▼いずれも結論を出す過程で必要なものであり決して無駄とは考えておりません。山南地域のごみ問題については、篠山市に申し入れ書を提出しています。

問 今回の水道部の職員による不正支出問題では、該当職員を告訴されるようだが、市が被った損害額について市長自身が賠償を負う覚悟で取り組んでいるのか。

答 ▼不祥事は市長としては当然、また管理者としての管理責任がありますので、告訴の結果などを踏まえて責任を明らかにいたします。

問 水道部の変更契約において30%を大きく超えて増額しているものがあるのは問題だ。

答 ▼一般的には30%を超えないものですが、特別な事情がある場合は、超える時もあります。

問 水道部の変更契約において30%を大きく超えて増額しているものがあるのは問題だ。

答 ▼一般的には30%を超えないものですが、特別な事情がある場合は、超える時もあります。

代表質問



自由クラブ
林 時彦 議員

情報基盤網の構築で 介護の充実を

問 市は広大な地形であるうえ、全国平均より高い高齢化率である。自宅介護を推進している市の立場として、介護の面でどのように情報基盤網を利用していくのか。

市から市民への二方向通行の言いつばなしではなく、双方向の手段が必要だと考える。テレビ電話やパソコンなどを利用した方法を考えるべきだ。

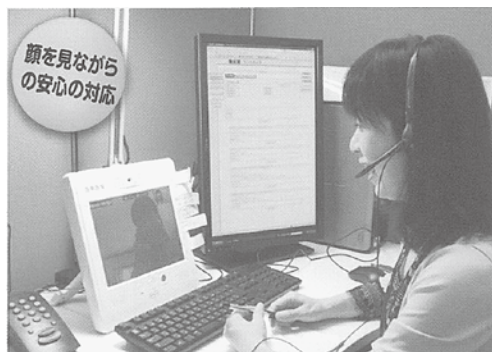
答 ▼在宅介護における双方向の通信システムの利用方法は、高齢者の介護や健康相談などの利用が考えられますが、どのようなシステム整備が必要であるか、その費用対効果を考慮し検討します。

問 病院は二つに統合して充実すべきだ。看護専門学校は市立にしてでも存続すべきだと提

言してきたが、今の市長の考え方はどうか。

答 ▼県立柏原病院と柏原赤十字病院の医療スタッフの状況、経営状況、全国的な医療動向から、一つの病院として充実した医療を提供することが望ましいと考えます。

また看護専門学校については医師と同じくらい大事な看護師の確保、若者定着の観点から、市立化を決定しました。



△他市の双方向コールセンターシステム

代表質問



市民クラブ
木戸せつみ 議員

第3次学校施設整備計画について

問 第3次学校施設整備計画をいつ策定するか。

答 ▼現学校施設の現状把握の調査を終えました。この結果を参考に平成24年度中に策定予定です。計画の具体案は、青垣、山南は23年度の教育を考える会からの提言や、今年度設置予定の統合準備委員会(仮称)における統合時期、学校の場所など案件の審議経過を参考にしますが、第3次学校施設整備計画に盛り込むことは困難と考えます。

問 デマンドタクシーで旧町域を越えて県立柏原病院、柏原赤十字病院などへ通院できるようにすべきだ。

答 ▼公共交通活性化協議会で協議します。

問 県立柏原病院で人工透析治療の早期再開を。

答 ▼神戸大学へ専門医師の派遣を要請しています。

問 下滝駅舎を恐竜駅舎風に改築を。

答 ▼駅トイレの水洗化を



△山南中学校と和田中学校

含めJ・Rと協議が必要です。

問 東播丹波連絡道(国道175号線)の早期整備を。

答 ▼広域ネットワーク構築のためルート決定と事業着手を国に要望します。

問 小学校区自治協議会と市行政の連携を。

答 ▼市行政専門部署が連携します。

代表質問



丹政クラブ
太田喜一郎 議員

成松地域の今後のまちづくりは

問 成松地域は都市計画マスタープランによると空き店舗活用など人の集まる空間づくりを促進し、買い物や診療など地域の生活の利便性を支える拠点市街地として充実を図るとしている。どんな施策で今後取り組むのか。

答 ▼商店街の活性化、空き家、空き店舗の活用は重要な課題であり、地域の意見を聞き、国・県の補助事業の導入も検討し、元気で活力あふれる地域づくりを推進します。

問 新しく「丹波市スポーツ推進計画」を策定し更なるスポーツ振興を図ってはどうか。

答 ▼スポーツ基本法を踏まえ、平成26年度策定予定の総合計画や生涯学習基本計画と合わせ策定します。また関連企業との連携やス



△頑張る商店街

ポーツ施設の整備、顕彰制度も研究します。

問 サッカースタジアム建設の要望書が提出されている。若者の夢を実現させられないか。

答 ▼魅力のあるまちづくりを進めていくためにも夢のある施策として検討します。

問 悲しみのお知らせの復活はできないか。

答 ▼合併時に3年を目途に廃止するとなっていました。今後は行政からの放送は考えていません。

代表質問



新生会
前川豊市 議員

組織の違う2病院が統合できるのか

問 市長は、地域医療フォーラムで「県立柏原病院と柏原赤十字病院を統合して、11113にしたい。」と力強く言われた。確かに両病院をそれぞれ存続していくのは難しいことは解るが、組織の違う二つの病院を統合するのはそう簡単にできるものでない。市民に期待を持たせ「努力したが、できなかつた」では済まされない。市長の「統合への進め方」を尋ねたい。

答 ▼県立柏原病院と柏原赤十字病院の将来を考えれば、それぞれの病院が改築し存続していくのは、非常に困難であり、今後二つの病院として、さらに充実した医療を提供していくことが望ましいと考えています。

運営組織の異なる病院の統合については、課題が多く、特に、



△永年にわたり地域医療に功績を果たしてきた
柏原赤十字病院

出身大学や経歴の異なる医師が集まれるのか、また、病院職員などの身分移管がうまくいくのか、という点が最も懸念される点であり、全国では、それにより統合を断念した例もあると聞いています。まずは、県のあり方検討委員会や両病院の関係者や地域医療・病院経営の専門家の意見を聞き、論議を深めて参りたいと考えています。

一般質問



垣内廣明 議員

丹波市のデザインを どのようにされたのか

問 委託費が増え事業費が高騰傾向にある。技能労務職員の活用をすべきだ。

答 ▼任用替えは組織の活性化が図られます。しかし、現時点では職員数が余剰という現状がなく、実施は見送っています。

問 看護専門学校など合併特例債の活用による新たな事業は一般事業に影響しないか。

答 ▼計画事業費の減額や計画の見直しの枠の中で可能と判断しています。

問 安全・安心な社会の実現への対応はどうか。

答 ▼地域総合治水推進計画の策定に向け、具体的な方策の調査研究を進めています。また、歩道については次期道路整備計画で交通安全施設整備事業として明記すること

を検討します。

問 市民総がかりの教育への対応はどうか。

答 ▼平成たんば塾は、児童生徒の自学自習の学習習慣を養うよう、各自治協議会に説明し取り組んでいたとしています。また各学校長にも協力依頼をしています。

問 学校統廃合に向けた基本的な考え方はどうか。

答 ▼良い教育環境の整備に向けて財政面も含めて、準備委員会に対して一定の方向性を示します。



△進まない歩道整備

一般質問



高橋信二 議員

兼業農家・高齢者農業を どうするのか

問 農業の現状は大半が兼業農家で40a未満の作付け者が6割を超えている。また、耕作者の9割近くが60歳以上で占められている。

答 ▼農作物の最たるものは水稲である。50aの耕作で、農機具経費を無視し、30万円程度の収益である。基幹産業がこのような人で支えられているが、どう支援をしているのか。

答 ▼農業全般的に野猪等被害対策や特産物種子購入助成、有機堆肥の散布、戸別所得補償交付金などで支援しています。

問 耕作者は「農地があるから仕方がない」「荒廃を防ぎたい」「生産調整があっても米作はやりやすい」「安全でおいしい米が食べたい」「自分の代だけ続けていこう」などの理由でひたすら農業を続けて

いるが希望の持てる今後の方策はないのか。

答 ▼高齢化とともに、今後ますます農業離れが進むことは明らかです。それまでに次の担い手となる農業経営者の育成・確保が重要課題です。

問 変化する農村「コミュニティ」とまちづくりをどう考えているか。

答 ▼「地域の農地は地域で守る」を合言葉に共助・共存のまちづくりを進めることが大切です。



△黄金色に輝き収穫が進む稲田

一般質問



瀬川 至 議員

自治会長の相談役になる 職員の配置を

問 高齢化が早く進んでいる自治会では役員も高齢者になり、これから自治会運営をどのように行なえばよいのかと悩まれている。

答 ▼そこで、希望される自治会に市職員を相談員として派遣し、自治会長と話し合いをする体制がとれないか。相談にのることで解決できることがたくさんあり、また、職員も新たな課題に気づくなど、勉強になると思うがどうか。

答 ▼役員の高齢化が進んでいる自治会もあり、自治会運営について悩まれている自治会は、増えていくと考えます。

自治会の中での課題は、自治会において解決していただくのが基本と考えています。

しかし、解決できない場合は、近

隣の自治会と、更には校区をあげて解決することが重要です。

職員を配置することは難しいと思いますが、担当部署への取り次ぎや簡易な相談などで積極的に活用してください。

問 職員が出かけて行つて市民の声を聞き、課題を解決することが必要と考えるがどうか。

答 ▼地域で生活する職員が中継ぎし、支援することが大事と考えます。



△活動拠点の自治公民館

一般質問



小寺昌樹 議員

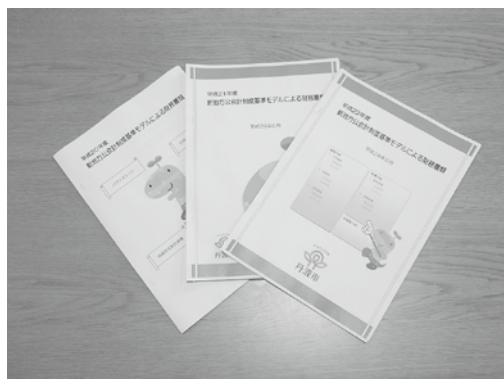
会計情報を職員は共有し活用しているか

問 職員は公会計の情報を共有し効率的、効果的財政の運用に心がけ、市民に、より質の高い行政サービスを提供するよう努めているか。

答 ▼有効活用はまだまだです。コスト意識の向上と、職員の理解度を高め、財務書類の精度も更に高め、経営感覚を磨くことが大変重要であると考えます。

問 公会計導入後、資産・負債の改善に効果はあったか。

答 ▼資産・負債の総額など、決算書の中に示されていなかった数値を、財務書類上簡易に把握でき、資産の適正管理、負債の圧縮方向性が確認でき、未利用財産の売却促進、集会施設の自治会などへの譲渡に取り組んでいます。



△新公会計制度により作成された財務書類

新規の起債事業は、発行額の抑制や、繰上償還の実施による債務の圧縮など財政の健全化に一定の効果がありません。

問 インターネットや携帯電話の普及により、子供をトラブルから守る消費者教育を計画的に推進しているか。

答 ▼トラブルに巻き込まれないよう情報モラル教育を実施し、未然防止に努めています。

一般質問



堀 幸一 議員

農業振興施策の推進と農協との連携は

問 市の農業振興施策は、農業振興に関する国・県の関連する補助事業とともに事業推進されているが、農協との連携並びに協調体制はどうか。

答 ▼農協など農業関係機関との連絡・協調を図るため、市農業農村振興協議会の設置や、農業振興打合せ会議を開催し情報交換を行ない、常時連携を図っています。

問 特産物振興奨励は、農家にどのように啓発指導され、取り組みされているか。

答 ▼特産物種子等購入助成などを実施し、市農業農村振興基本計画により平成27年度の振興作物の栽培面積を目標に掲げ、推進しています。

問 集落営農組織などの実態はどうか。



△JAとの連携促進を

答 ▼集落営農組織は55組織、認定農業者は、123経営体で、「地域農業の持続的な担い手」と位置付け、担い手の育成・確保を推進しています。

問 産業経済部は、農林・商工観光部門と事務範囲がきわめて広範囲であるため、商工観光部を設置してはどうか。

答 ▼市組織機構再編方針は組織のスリム化による「行政効率の向上」の観点から現行維持としています。

一般質問



奥村正行 議員

指定管理施設協定の是正が必要だ

問 公の施設の管理協定書で建物火災保険は、市負担となっている。しかし、自治協議会の拠点である幸世地区と生郷地区の交流施設は、管理者負担となっており不公平だ。早急に見直すべきだ。

答 ▼補助金などを活用し市が整備した施設で、実質的には自治協議会が管理主体となり「譲与予定で、協議会などで管理していく施設」は負担いただいています。統一の中で二定の判断をします。

問 中学生ヘルメット購入補助金は、通学時の安全確保のためと要綱にある。校長会で事務処理の負担が多いなどの意見があり、廃止を検討とのことだった。継続するか小学3年時に全員への補助を検討してはどうか。

答 ▼小学3年時の

補助、継続も含め検討しています。24年度は従来どおりに補助対応しています。

問 「地域医療体制のあり方等の検討会」では、様々な市民団体が地域医療を守るために活動されている方などの意見を聞き、市として取り組めることを提案すべきだ。

答 ▼活動されている方のご意見も伺い、市として何ができるか発言したいと思っています。



△幸世（上）と生郷（下）の交流施設

一般質問



広瀬憲一議員

市民の命と暮らしを守り 福祉向上を

問 市民の「命と暮らし」を守り、地方自治の発展充実を図るうえで総括を問う。

答 ▼市民の声を聞き、心の合併や財政基盤を確立し、守りから攻めへ進めてきました。

問 剰余金を繰上償還に使わず福祉向上をめざせ。

①福祉、暮らしの施策充実。こども医療費の無料化。国保料の引下げ。出産祝金の設置。介護保険サービスの見直しと保険料の引下げ。

②地域産業の振興。住宅リフォーム助成制度の拡充。市特産物（12品目）の奨励。

③教育の充実。学校給食の公営化を守り、無料化。保育料の無料化。

答 ▼繰上償還は健全財政維持のために最も効果があり、指摘の各施策の実施は



あか
△すくすく育て丹ちゃん

考えていません。

問 地域医療を守るための公的2病院の対応と看護専門学校の実施を。

答 ▼両病院の特色を活かした統合をめざします。

問 消費税の大増税と社会保障制度改正に反対し、原子力発電から自然エネルギーへの転換を国へ求めよ。

答 ▼消費税など反対は考えていません。原子力は国の動向を見守ります。

一般質問



坂谷高義議員

人口減少の歯止め 地域活性化の進捗は

問 人口減少の歯止め策及び、地域活性化策の進捗状況はどうか。

答 ▼市商工会青年部主催の婚活事業は過去21回実施、成立カップル173組、うち20組以上が結婚、更に県が実施している出会いサポート事業で、今春第1号のカップルが誕生しました。また、地域活性化策の企業誘致では、18年度以降で10社の新規立地があり、その内4社が平成23年度に立地されました。

問 市長は、今後概ね20年後の丹波を見据えた時、本

当に安心・安全で魅力あるまちにするにはどのような形が良いと思われるか。

答 ▼少子高齢化や人口減少が続く中では、都市計画マスタープランの素



△中井権次の遺作

案で示した「コンパクトなまちづくり」、「それぞれの地域がそれぞれの個性を活かしたまちづくり」が大切であると考えています。

問 中井権次一族が残した作品と、市の史実の支援を。

答 ▼民間の自主的な活動を支援し、中井一族が残した彫刻類などの保護・顕彰が図られるよう努力します。

一般質問



田坂幸恵議員

市民の命と暮らしを守り 福祉向上を

問 医師、看護師は、中学生の頃から志した人が多い。平成27年度から看護専門学校が市に移管される予定だ。医療従事者をめざす中高生・一般を対象に医療体験合宿を実施できないか。

答 ▼中高生を対象に、医療に関わる動機として効果の高いものと考えています。病院などの協力を得て前向きに検討します。

問 来年度の3ワクチン（ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん）の助成は。

答 ▼予防接種法の改正があれば、実施主体は市となり、公費負担になります。

問 本年度のインフルエンザワクチンの助成事業の計画はどうか。

答 ▼医師会と協議を行なっています。

問 市民が安心し



△医療体験学習の実施を

一般質問



山下栄治 議員

生活道路福田坂の 交通解放を早急にせよ

問 市道特16号線の災害復旧実施計画では、3年間以上も通行不可能になっている。「重要な生活道路である」と認識している以上、応急処理により、早急に通行可能な対策を取るべきだ。

答 ▼今後、地元自治振興会や自治会・地権者と調整しながら詳細設計を12月末に完了したいと考えています。応急処理につきましては、崩落付近には複数の亀裂もあり、交通解放することは歩行者や車両の安全確保が図れないと考えています。

問 災害復旧工事とは別に「市道特16号線の整備に関する覚書」に記載されている事項に、急カーブ・急勾配箇所の難所解消の改善策を事業化に向けて検



△1年近く崩落のままの生活道路

討するとある。40mの高低差があり、起点終点が決まっている中で難所解消するには、一つの山をなくするか、トンネル化しかないと思うが、トンネル化も含め、最善策を考えているのか。

答 ▼現在急勾配・急カーブ等現状を調査しており、測量結果を基に道路構造令に基づき、難所解消の改良案を地元と協議し、今年度末を目途に最適案を作成したいと考えています。

一般質問



足立一光 議員

決算剰余金は 景気対策事業に

問 23年度決算で出た剰余金は、繰上償還ばかりではなく、景気対策事業に投資して市内の活性化を図るべきだ。

答 ▼平成24年度において、市内業者の施工を条件として住宅改修等助成事業、プレミアム商品券発行支援事業及び設備投資支援事業の継続と太陽エネルギー普及加速化による地域活性化補助金を追加し、各事業の展開を図っています。また新年度予算において、地域振興基金を活用して市内経済の安定化を検討します。

問 辺地対策事業債は道路、橋梁、消防施設、自治会館、地域おこしなどいろいろな事業ができる。辺地指定地域は高齢化率も高いところが多い。便利で住みよい地域



△辺地債で建設された今出公民館

づくりを進めていくべきだ。
答 ▼辺地対策事業債は辺地地域とその他の地域との地域間格差を是正するため、辺地総合整備計画に基づいて実施する公共的施設の整備に活用できるものであります。

辺地地域における事業の実施につきましては、それぞれの地域の実情を十分考慮し、高い事業効果が得られると認められる事業には、積極的に活用して参りたいと考えています。

ことばの解説

※1 ミストシャワー

水道水を微細な霧状にして噴射し、その気化熱で周辺の気温を下げるものです。

※2 公会計

国や地方自治体の会計のことを公会計といいます。企業会計とは異なり、税金の使い道を明らかにするのが目的で、最近では財政難から、行政サービスの費用対効果を明らかにすること

が公会計に求められています。

※3 決算剰余金

決算で収入済額が支出済額を上回った場合の差額を決算剰余金といいます。

※4 辺地対策事業債

辺地（山間地、離島など）の公共的施設の整備事業に対して措置される地方債です。

丹波市の辺地指定地域



市行政に対する要望・提言について市当局の回答を得ました

5月に開催した議会報告会で市民のみなさんよりいただいた市行政に対する要望・提言を、議会から市長に文書にて報告していただきました。その回答を得ましたので、主な内容をお知らせします。

○不法投棄対策について

市内の道路河川等にはゴミが散乱しているが、その実態はどのようなになっているのか。また、投棄物の製造者にも責任を求めるように国県に働きかけてはどうか。

回答【生活環境部 環境政策課】

市内の道路及び河川内の不法投棄物処理につきましては、国・県・市各施設管理者により定期的なパトロールと投棄物の回収を実施されているところです。丹波市が管理する道路及び河川等については、管理者の定期的なパトロールに併せ、環境保全事業として不法投棄の回収を業者委託し、定期的な環境パトロールとゴミ（不法投棄）の回収を実施しています。全ての回収が環境パト

ロールでは難しく、市民の方々の通報により処理することも多くありますが、速やかに対応し環境美化に努めているところです。

投棄物の製造者責任（拡大生産者責任）は、収集―分別―リサイクル費用を行政から民間業者に移す重要な政策です。国の中央環境審議会においてリサイクルの推進と適正処理の確保が両立できる制度の確立が議論されているところであり、その推移を見守りたいと思います。

○空き家対策について

高齢化が進む中、地域の空き家をリフォームするなどにより、高齢者が近くで集まりやすく団樂できる場所を作るようにしてはどうか。また、自治会での空

き家対策に対する支援策は、検討できないか。

回答【生活環境部 生活安全課／まちづくり部 地域協働課】

全国的にも増加傾向にある空き家について、丹波市内における実態が把握できていないことから、空き家の管理状況も含めた実態調査を検討しているところです。

また、空き家の活用方策等については、国の空き家再生等推進事業（国土交通省）の適用を含め、引き続き検討してまいりたいと考えます。

○丹波市庁舎等整理統合基本計画について

社会教育部門を市長部局へ移し教育委員会を二分しておきながら、いまだ教育委員会と市長部局をまとめることについては、いささか疑問が残る。

回答【企画総務部 総務課】

平成23年度に社会教育部を市長部局に移したのは、それまで教育委員会が担ってきた社会教育、生涯学習のノウハウを、地域社会における人づくり・まちづくりに活用するためです。

今回の機能集約は、保護者か

らの相談業務や学校の適正配置等の課題に迅速に対応し、業務の効率を図るため、教育委員会を本庁舎周辺に集約するものです。

○生涯学習施設の整備計画について

生涯学習施設の整備計画の中間報告が出されたが、生涯学習施設の必要性をどのように考えたのか。また、耐用年数満了後の対応についてはどのように考えるのか。

回答【まちづくり部 生涯学習センター】

市民一人ひとりが生涯にわたって心身ともに健康で元気に過ごすため、生涯学習やスポーツ、芸術などの果たす役割は大きく、市民の自主・自発的な学習活動を支える重要な基盤のひとつが生涯学習施設と考えております。

一方、旧町時代にはそれぞれの町で多くの生涯学習施設が整備され、合併後も継承していますが、重複する施設も多く、維持管理費面で適切な施設数に集約整理していくことも必要と考えております。一定の目標数以上の施設については廃止をし、良好な

施設環境を整備していくことで、市民に快適に安心して利用していただけるものと考えております。

耐用年数は、あくまでも税法上の減価償却資産の評価のためのものであり、施設の基本的な対応方針は次のとおりです。

①現在の施設数が適正施設数より多い場合は、超過分を廃止して調整する。

②廃止する施設は、施設が老朽化等により使用不能となった時、または他用途への転用が確定した時に廃止することとし、それまでの間、構造躯体や主要設備の改修は行わない。

③毎年度の維持管理費や近隣施設の使用等により、廃止をやむを得ないと判断した場合は、施設が使用できる場合でも、早期に廃止する。



議会報告会の内容や提言・回答の全文は、議会ホームページでお知らせしています。

議会の動き

平成20年～24年の
主な記録

4年間をふりかえって

丹波市議会議長 足立 正典

丹波市議会第2期の4年間を終えるにあたり、市民のみなさまにお礼を申し上げます。

この4年間は、みなさまに議会がより身近なものとなるよう、インターネットによる会議録の公開、本会議の映像配信、さらには、議会活動の規範となる「議会基本条例」を制定しました。

議会の憲法ともいえるべきこの条例は、議会と市民が情報を共有し、市民に市政への参加を求め、開かれた議会づくりをめざすものです。

また、議員間の活発な討議や、行政と持続的な緊張関係を維持していくことも規定しています。

本年5月には、議会基本条例による議会報告会を6地域で開催し、議会活動報告や生活に直結する課題などについて、みなさまから貴重なご意見をいただくことができました。

これらの活動によって、議会基本条例がめざす本来の目的が達成できるものと確信しており、みなさまに機会を通じて議会の活動に関心を持っていただくよう、更なる取り組みを講じてまいります。

12月からは、新しく第3期の議会体制となりますが、この4年間の取り組みが今後の市政の発展と併せ、福祉向上のための議会活動となることを願っています。



平成20年

12月

- 市長、市議会議員24名選出される
- 議長に田口勝彦氏、副議長に足立修氏を選任
- 代表監査委員に谷垣渉氏、議会選出監査委員に小寺昌樹氏の選任を同意
- 教育委員会委員2名の選任を同意
- 一般廃棄物処理施設建設に係る調査特別委員会を設置
- 救急医療に係る調査特別委員会を設置

平成21年

3月

- 平成21年度丹波市一般会計予算他13特別会計予算を可決
- 北朝鮮による拉致被害者の早期救出と政府未認定の特定失踪者の真相究明を求める意見書を提出
- 自主共済制度の保険業法適用除外を求める意見書を提出
- 認定こども園に係る調査研究特別委員会を設置
- 副市長に永井隆夫氏の選任を同意

5月

6月

- 北朝鮮の核実験に抗議する緊急決議を可決
- 山東（春日・市島）地域の救急駐在所整備についての請願を採択
- 山東（春日・市島）地域の救急駐在所調査特別委員会の設置を否決
- 次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の2分の1還元と堅持を求める意見書を提出

9月

- 「青垣総合運動公園条例の制定」
- 「春日総合運動公園条例の制定」
- 「体育施設条例の一部を改正する条例の制定」
- 賛助金等拠出拒否決議を可決

の議案を市長が撤回

- 平成20年度丹波市一般会計決算他14特別会計決算を認定
- 教育委員会委員1名の選任を同意
- 議会基本条例策定特別委員会を設置

平成22年

1月

2月

- 薬草薬樹公園及び休養施設やすら樹へ指定管理者制度を導入
- 障害者自立支援法の「応益負担」の廃止を求める意見書を提出
- 「子ども手当」の財源に関する意見書を提出
- 子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書を提出



平成
22年

3月

4月

6月

9月

12月

平成
23年

1月

2月

3月

4月

- 平成22年度丹波市一般会計予算他12特別会計予算を可決
- 教育委員会委員1名の選任を同意
- 丹波市立北大路・上久下・久下・小川幼稚園を廃園

- 認定こども園さちよ・同三尾の森おおじ・同みつみが開園

- 議員定数に係る調査特別委員会を設置

- 丹波市議会の議決に付すべき事件に関する条例の制定を否決
- 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書を提出

- 平成21年度丹波市一般会計決算他13特別会計決算を認定
- 庁舎統合に係る調査特別委員会を設置

- (仮称)丹波市クリーンセンター整備運営事業の入札辞退に係る調査特別委員会(98条)を設置
- たんばりんぐ臨時号を発行し、「丹波市議会議員の定数」について意見を募集

- 議長に足立正典氏、副議長に太田喜郎氏を選任

- 議会選出監査委員に萩野拓司氏の選任を同意

- 教育委員会委員1名の選任を同意

- 行政組織改編関連8議案を市長が撤回

- 丹波市議会議員定数条例の一部改正を可決(次回選挙より議員定数を24名から20名に)

- 取調への可視化など刑事訴訟法の改正を求める意見書を提出

- TTP(環太平洋戦略的経済連携協定交渉への参加に反対する意見書を提出

- 丹波竜化石工房が「ちーたんの館」としてリニューアルオープン

- 議会議員研修を開催(行政評価の導入と活用)

- 丹波市議会議員政治倫理条例調査特別委員会を設置

- 【平成23年3月11日東日本大震災発生】

- 平成23年度丹波市一般会計予算他11特別会計予算を可決

- 丹波市長に対する問責決議を可決

- 丹波市立青垣幼稚園を廃園

- 丹波市公民館を廃止し、住民センターを設置

- 認定こども園あおがきが開園

- 議会議員研修を開催(議会における行政評価)



平成
23年

6月

7月

8月

9月

12月

平成
24年

3月

5月

9月

- 「丹波市特別職の職員で常勤の職員の給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例制定」により市長20%、副市長10%1ヵ月減給

- 市公共工事に係る調査特別委員会(100条)を設置

- 「丹波市議会基本条例」市民フォーラムを開催。山梨学院大学 江藤俊昭教授が基調講演

- インターネットによる議会ライブ中継開始

- 平成22年度丹波市一般会計決算他12特別会計決算を認定

- 丹波市議会基本条例の制定を可決

- 丹波市議会議員政治倫理条例の一部改正を可決

- 市公共工事に係る調査特別委員会の調査経費の追加に関する決議を可決

- 人工透析治療体制の確立を求める意見書を提出

- 光回線の整備についての要望書を提出

- 丹波市自治基本条例の制定を可決

- 丹波市暴力団排除条例の制定を可決

- 教育委員会委員1名の選任を同意

- 兵庫県立柏原看護専門学校の存続を求める意見書を提出



- 平成24年度丹波市一般会計予算が予算特別委員会で原案及び委員提出の修正案が否決。本会議で市長提出の一部訂正予算を可決

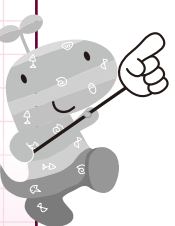
- 平成24年度丹波市11特別会計予算を原案可決

- 介護保険財政安定化基金による第5期介護保険料引き上げ抑制を求める意見書を提出

- 議会報告会を市内6会場で開催

- 日本経済新聞社産業地域研究所による議会改革度調査で全国810の市区議会のうち第33位と評価

- 原子力発電からの脱却と自然エネルギーへの転換を求める意見書を提出



平成 23 年度 政務調査費の収支報告をお知らせします

政務調査費は、地方自治法に定めがあり、議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、議会の会派または会派に所属しない議員に対して交付される、いわゆる補助金で、交付の対象、額などについては、各自治体の条例で定めることになっています。

丹波市議会では、議会政務調査費の交付に関する条例及び規則を制定し、これらに基づいて適正な執行に努めています。

- (1) 交付対象 「会派」もしくは「会派に所属しない議員」
- (2) 交付額 議員 1 人当たり年 12 万円で、5 月と 11 月の 2 回に分けて交付します。
- (3) 残余額 年度終了後に精算し、交付した額に余りが出た場合は、返還します。
- (4) 収支報告書 その年度の政務調査費に係る収入及び支出の報告書で、議会事務局で 5 年間保管します。
- (5) 証拠書類等 会派等は、政務調査費の支出について会計帳簿を調製し、領収書等の証拠書類を 5 年間、整理保管します。領収書等は、額に関係なくすべて保管します。
- (6) 使途基準 以下のように、細かく規定しています。(主なもの)
 - ・ 交 通 費 旅費は丹波市職員等の旅費に関する条例を準用する。
 - ・ 宿 泊 費 宿泊費（食事代は除く）は甲地 10,900 円、乙地 9,800 円を限度に実費とする。
 - ・ 燃 料 代 私用車を使用された場合は、その実費（出発時に満タンにし、帰宅時にも満タンにした給油伝票により確認）
 - ・ 図書購入費 政務調査に関係する図書購入の実費（新聞や雑誌などは除く）
 - ・ 広 報 費 会派活動等の広報誌発行に要する費用

★政務調査費の対象外となる経費

- ・ 政党活動、後援会活動、選挙運動などの経費
- ・ 餞別、慶弔、寸志、見舞金、電報などの交際費的な経費
- ・ 議員の飲食

など



平成 23 年度 政務調査費会派別収支一覧（平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月）

単位：円

会派名	人数	交付額	支 出			支出合計	残 額
			調査研究・研修費（下段：調査先と内容）	広報費	事務費ほか		
市民クラブ	5人	600,000	743,254 5月11日～12日 和歌山県橋本市エコライフ紀北（資源循環型社会構築） 大阪湾フェニックス兵庫建設事務所（大阪湾フェニックス計画） 8月1日～2日 岩手県葛巻町森林組合（森林資源の有効利用と新エネルギー事業） 秋田県大仙市（学力向上の取り組み） 2月15日～16日 高知県仁淀川流域（木質バイオマス地域循環システム） 松山市松山赤十字病院（医療圏地域医療連携ネットワーク）	0	12,890	756,144	0
新生会	4人	480,000	333,628 8月8日～9日 秋田県横田市（食と農の取組み・学力向上の取組み） 秋田県八郎湖周辺清掃事務組合（八郎湖周辺グリーンセンター） 11月8日 岡山県津山市（バイオマス利用）（木を活かし、木とともに歩む活動） 岡山県真庭市（バイオマスタウン構想）	151,550	0	485,178	0
政友会	3人	360,000	253,376 10月26日～27日 熊本県山鹿市（道の駅「鹿北」経営・農業振興政策） 2月13日～14日 山口市社会福祉法人夢のみずうみ村（福祉施設の経営） 山口県山陽小野田市小野田赤十字病院（地域医療と病院経営）	111,971	0	365,347	0
丹政クラブ	3人	360,000	334,189 5月11日～12日 和歌山県橋本市エコライフ紀北（資源循環型社会構築） 大阪湾フェニックス兵庫建設事務所（大阪湾フェニックス計画） 11月11日 京都府南丹市（市役所本庁舎利活用の取組み） 秋田県大仙市（学力向上の取組み） 2月6日～8日 埼玉県春日部市（雨水貯留施設の取組み） 埼玉県川越市（上下水道局公営企業） 埼玉県坂戸市（スマートインターチェンジ設置） 群馬県太田市（デマンドバス運営） 2月14日～15日 相生市（子育て支援の取組み） 愛媛県内子町（バイオマスタウン構想）	0	35,940	370,129	0

次項へ続く

公明党	2人	240,000	269,574 7月7日～8日 東京都(自治体トップマネジメントセミナー・総務省研修) 8月8日～9日 秋田県横田市(食と農の取組み・学力向上の取組み) 秋田県八郎湖周辺清掃事務組合(八郎湖周辺センター) 11月8日 岡山県津山市(バイオウォルストリート) (木を活かし、木とともに歩む活動) 岡山県真庭市(バイオマスタウン構想)	0	0	269,574	0
日本共産党議員団	2人	240,000	167,811 8月8日～9日 秋田県横田市(食と農の取組み・学力向上の取組み) 秋田県八郎湖周辺清掃事務組合(八郎湖周辺センター) 11月7日 相生市(子育て支援と少子化対策の取組み)	300,972	600	469,383	0
自由クラブ	2人	240,000	60,200 7月7日～8日 東京都(自治体トップマネジメントセミナー・総務省研修) 11月8日 岡山県津山市(バイオウォルストリート) (木を活かし、木とともに歩む活動) 岡山県真庭市(バイオマスタウン構想)	75,922	1,300	137,422	102,578
改革クラブ	2人	240,000	113,565 7月7日～8日 東京都(自治体トップマネジメントセミナー・総務省研修) 11月8日 岡山県津山市(バイオウォルストリート) (木を活かし、木とともに歩む活動) 岡山県真庭市(バイオマスタウン構想)	160,726	0	274,291	0
足立正典	1人	120,000	94,668 10月27日～28日 岩手県遠野市(地方自治経営学会研究大会) 11月7日 相生市(子育て支援と少子化対策の取組み)	0	600	95,268	24,732
合 計		2,880,000	2,370,265	801,141	51,330	3,222,736	127,310

●常任委員会活動レポート

本市が抱えるさまざまな課題を調査・研究するため視察研修を行ないました。

総務常任委員会

「コミュニティFMについて」

(三田市 (株)えふえむさんだ)

8月10日

災害協定を1年目に締結、毎年防災訓練を司会進行も含め合同で実施されています。コミュニティFMが災害時の役割を果たすためには行政との連携が不可欠です。

第三セクターでありません。市民活動の団体や個人を取り上げモチベーションアップにつなげています。市民メディアとしてラジオでなければ楽しめない人(看護、介護する人など)のほか、多くの頑張っている人の市民力アップに大きな役割を果たしています。

民生常任委員会

「相生市看護専門学校」について

(相生市)

8月9日

相生市では、市内の医療機関の看護師の充実に医師会が力を入れ、看護専門学校校長は医師会から派遣され、学生に対しては相生市医師会看護師就学資金を

無利子で貸与し、学生募集については社会人特別推薦枠を設けるなど、地元医療機関の看護師確保に効果を上げています。

産業建設常任委員会

「新生活交通『雪舟くん』について」

(岡山県総社市)

8月9日

運行主体は総社市で、運行事業者はタクシー事業者、バス事業者です。運行エリアは市内全域で、地域別4エリアと、どのエリアからも乗り入れできる共通エリアを設定されています。

丹波市のデマンドタクシー運行

は、旧町区域内の利用に限っていることに対し、総社市では、運行エリアに共通エリアを設けて、各エリアから市内の中心部の共通エリアへ乗り入れでき、またそこで違うエリアへ乗り換えて行くことができるようにしています。

沼貫地区のコミュニティ活動

沼貫地区自治振興会
会長 打田 芳洋

沼 貫地区自治振興会の地域づくりの目標は健康・環境・教育を主眼において多くの地区住民の参画を得て活動に取り組んでいます。

その主なコミュニティ活動の特色は、丹波市の「元気な地域づくり特別事業交付金」や兵庫県の「県民交流広場事業」の補助金を活用し、地区住民の拠点施設である南保健福祉会館に地域住民の作品が展示できるコーナーを増設し、芸能発表などイベントができる屋外ステージを新設するなどの施設の整備充実を図りました。

今後これらを活用して、従来から39年間実施している最大イベント「沼貫ふるさとまつり」も本自治振興会を中心とした地区内の各種団体や有志の参画を得ながら豪華な花火大会（400発）や夜店・バザーなど毎年盛大に開催していきます。

そのほか、区民ハイキングや沼貫の伝統・文化を伝承し健やかに成長するため、地域の小学3年生以上の子ども達が各自治会へ出向き、地元老人会や企業などと交流を深めています。

明日の時代を担う若者達が積極的に参画し、それぞれの知識・技術・経験を生かして活力ある沼貫ふるさとづくりに取り組んでいきます。



沼貫ふるさとまつり



足利氏ゆかりの石龕寺もみじ祭

小川地区自治振興会
事務長 篠倉 敏孝

昭 和63年から始まった同祭は、今年で23回目を迎えました。以来「石龕寺のもみじ祭」として遠方からもバスを連ねて参拝される方が増えてきました。

もみじ祭当日は、武者行列があり、足利尊氏、義詮に扮した馬上武者を先頭に修験者・侍武者・少年武者・少女物詣が行列します。井原日吉神社を出発し、石龕寺までの約3kmを歩きます。沿道には石龕寺までの道のりを示した町石があり、そのいにしえを思いながら、石龕寺仁王門をめざします。

仁王像は鎌倉時代の仏師定慶作で、国の重要文化財に指定されています。質実剛健な鎌倉時代の特徴をよくあらわした仁王像で、その見事さに圧倒されています。

境内では、もみじを愛でるのもよし、濃茶の風情を楽しむのもよし、お腹が空けば屋台もあります。素朴な味わいをいろいろと楽しんでいただけます。

もみじ祭が終わっても、もみじの名残・静けさもいいものです。ちょっと足を延ばして奥の院跡まで散策するのもまたよし。四季を通じて楽しめます。

ウォーキングコースとして地域の人たちも身近に風景を楽しみながら、健康増進を図っています。



石龕寺もみじ祭



編集後記

9月定例会の報告で、私たち議会報編集委員の2年間にわたる役割を終えることになります。

「開かれた議会」をめざし、議会での審議の内容をわかりやすく広報するため、編集委員会で研修を行ない、議案の審議並びに賛否が分かれた議案の採決の状況なども掲載してきました。

さて、9月定例会は会期が長くなり、決算審査の内容や認定結果について今回の議会だよりでお伝えすることができません。

その内容は、次回の議会だよりに掲載させていただきますので、ご了承ください。

次号から、新たな議会報編集委員会によって編集発行されますが、引き続き愛読いただき、市議会の活動にご理解を賜りますようお願い申し上げます。



議会報編集委員会
委員長 太田喜一郎 副委員長 山下栄治
委員 堀 幸一・高橋信二・奥村正行

前号クイズ当選者（答え：12月）

●春日町 板谷由美子 様 ●氷上町 山本喜久 様 ●春日町 吉住大貴 様

おめでとうございます！